

第3分科会(廃棄物処理業・リサイクル業)発表

大会テーマ：四国から発信しようエコアクション21
～審査人は、何を助言・提言して行くか～

分科会討議テーマ：「アドバイス」

分科会の目的：「アドバイスを共有化して、今後の審査に活かし、事業者の更なる発展と顧客満足度の向上を目指す。」

日時：2014年10月25日（9時00分～10時00分）

場所：松山全日空ホテル本館4階ルビー

担当地域事務局：愛媛県中小企業団体中央会

発表者：愛媛県EA21審査人：砂田弘二郎

参加人員：74名(審査員61名、事務局13名)

第3分科会（廃棄物処理業・リサイクル業） 協議の進め方の説明

○グループ討議のルール

- ・ 他の審査人からの提言を否定しない。
- ・ 傾聴する。（人の話をただ聞くのではなく、注意を払って、より深く、丁寧に耳を傾ける。）
- ・ より良い提言に向けた、協議を行う。

○進め方

- 自己紹介
各自発表
- ・ 氏名、県名、審査経歴のみを手短に述べる。
- ・ 1人3分×書記除く9名÷30分
事前に提出した「アドバイス」に掛かる事前資料を各自説明

グループ協議(約50分)

- ・各自発表をもとに、より良い提言に向けた協議を行う。
- ・書記は、協議の経過を記録し、取り纏めを模造紙に記入。

グループ別発表(約40分)

- ・発表者は、リーダーが指名。 ・ 1卓4分×9卓÷40分
- ・協議内容を交えながら、ベストプランとなる提言事項を発表。

ベストプランの選出(約15分)

- ・書記が模造紙に取りまとめたベストプランを各円卓に配置。
 - ・参加者それぞれ2ポイントを投票。(丸シールを配布)
 - ・事業者の要望の強さと効果の大きさを考慮し選出
- ベストプランの集計 ・事務局にてポイントの集計。

結果報告(約10分)

- ・より良い提言に選ばれた結果を報告。

第3分科会の9つのテーブル・グループ 毎のアドバイス「課題項目」

1. 目標設定の際に「**負荷削減に限界**」を感じている
2. 目標設定において「**指標・原単位の決め方**」が難しい
3. **省エネ・省資源**で投資する上で「**効果的方法**」
4. **省エネ・省資源**で「**あまり金をかけずにやる方法**」
5. **E A 2 1**の制度の理解がされていない
6. **法規その他制度**の理解がされていない
7. **安全・品質・本来業務管理**を含め業務改善する方法
8. 全般的な**業務改善の方法**
9. 従業員（あるいは経営層）の**意識改革**の方法

第3分科会(廃棄物処理業・リサイクル業) 協議結果の発表

「課題－1」（発表：6班）

法規その他制度の理解がされていない。

「提言内容」

- ・相手の事業範囲に応じた例（罰則等を考慮）を示してあげる
- ・事業継続性考慮をし、法令順守を自分達でチェックできるように審査を通してアドバイスしていく

「提言効果」

- ・遵守する意識が高まる
- ・質も高まる
- ・客からの信頼性が高まる

「課題－2」（発表：5班）

E A 2 1 の制度が理解できていない。

「提言内容」

- ・ コーチ活動実施の提案
- ・ 社長表彰制度の実施
- ・ 本業にマッチングした目標同じ目線に立ったアドバイスや小集団・設定
- ・ 社長インタビュー内容の全社員への波及

「提言効果」

- ・ 全員参加によるE A 2 1 制度の理解
- ・ コミュニケーション充実による経費ロス・無駄の低減
- ・ 社員のモチベーション向上

「課題－3」 (発表：4班)

省エネ・省資源で

「あまり金をかけずにやる方法」

「提言内容」

- ・ 最適な収集・運搬の・最選択
- ・ 車の整備・励行（タイヤ圧、点検整備）
- ・ 従業員への教育・啓発と徹底

「提言効果」

- ・ 燃料削減

ご清聴ありがとうございました。